

水沢地域自治組織 地域自治推進計画

1 計画期間 令和6年度～令和8年度 (3か年)

2 水沢地域の現状

水沢地域は、当間山麓の台地が広がり、当間高原リゾートをはじめ、スキー場やゴルフ場など自然環境を生かした保養空間を有しているほか、観光栗園やつつじ原など、家族で楽しめる体験型施設があり、都市交流も盛んである。

また、各種団体で取り組むイベントも多く、地域活動は活発であるが、山間地区は高齢化が著しく、集落の維持が困難になっている。

当間トンネルと広域農道の活用に加え、高規格道路インターチェンジの周辺整備に合わせた地域振興に取り組む。

3 水沢地域の課題

- (1) 当間高原リゾートや上越国際当間スキー場など、自然環境を生かした施設が充実しているので、地域活性化のため、振興会を中心に商工会や地元と連携を図る。
- (2) 高規格道路インターチェンジの整備に伴う周辺地域の利便性・活性化を考慮した土地利用について調査研究し、地域住民や地域団体で協議を推進する。
- (3) 防犯・防災の関係団体が連携して地域の防犯対策や災害時の対応を進める。
- (4) 山間地の高齢化対策と集落維持の取組を検討する。

4 水沢地域の将来像、目標

- (1) 滞在型・体験型観光による交流人口の増加
- (2) 高規格道路インターチェンジの周辺整備と地域活性化
- (3) 山間地の集落維持と活性化
- (4) 地域コミュニティを活かした地域の活性化
- (5) 健康で生きがいの持てる高齢者対策の実施
- (6) 関係団体と連携した防犯・防災活動への住民全員参加
- (7) 地域に愛着と関心を持てるようなアピール活動

5 水沢地域の基本方針

- (1) 大沢山トンネルと広域農道を活用した誘客促進に取り組み、リゾート振興協議会や商工会と連携して交流人口の増加を図る。
- (2) 高規格道路インターチェンジの土地利用計画の推進とそれに合わせた地域の活性化を図る。
- (3) 山間地の集落維持と活性化に取り組む。
- (4) 地域コミュニティを活かしたイベントの開催で活性化を図る。
- (5) 高齢者の健康増進事業に取り組み、介護予防を実践する。
- (6) 自主防災組織と集落防災組織、学校が連携し、住民全員で防犯・防災活動に参加して防災意識を高める。
- (7) 広報紙による情報・知識の共有を図る。
- (8) 保育園・小中学校の課外活動を支援する。

6 事業の実施計画

別紙地域自治推進計画体系表のとおり